

## **(3)第7期まえばしスマイルプランの基盤整備計画について**

### **医療計画との整合性の確保**

2017年10月26日

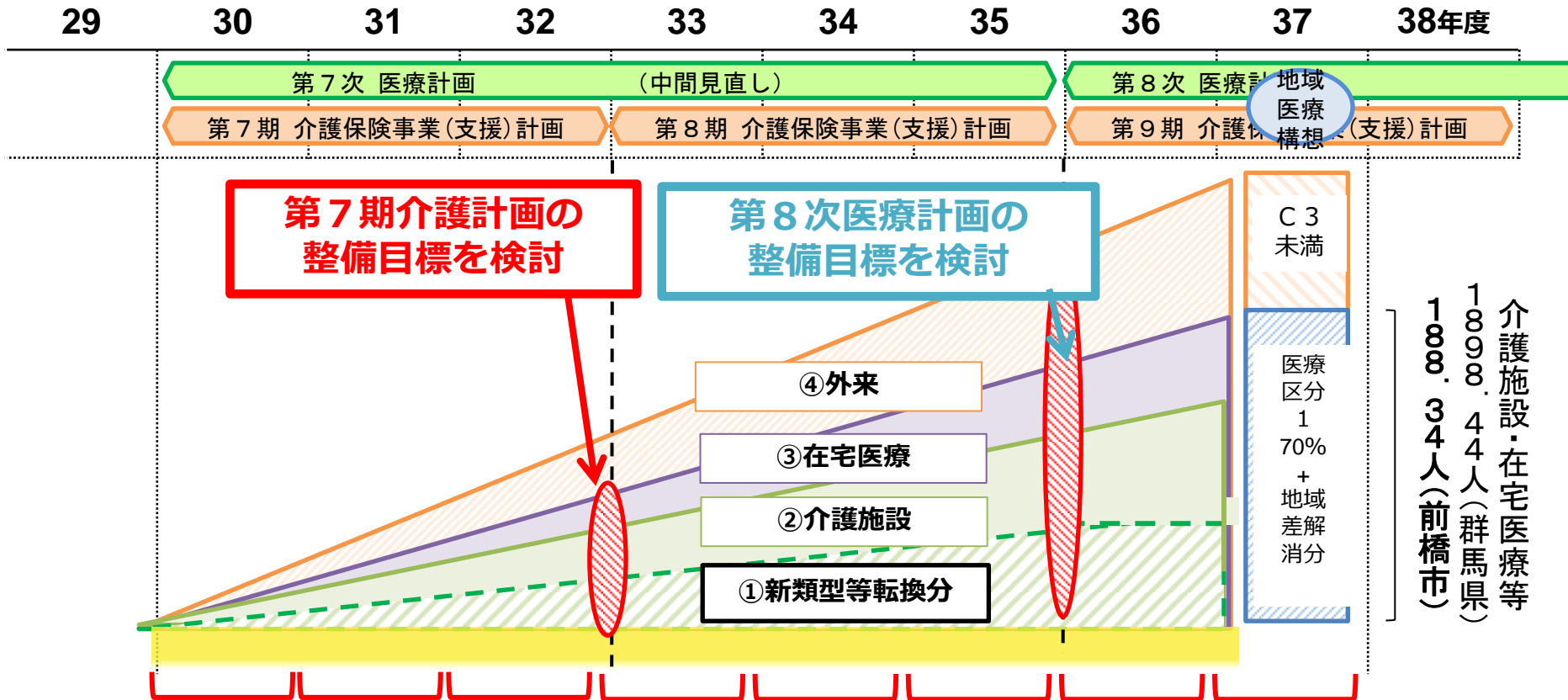
## 医療計画との整合性の確保(群馬県保健医療計画、群馬県地域医療構想)

- 2025年に向け、在宅医療や介護サービスの需要は、「**地域医療構想による病床の機能分化・連携**」により増加する見込み。
- 在宅医療等の新たなサービス必要量は、2025年に向けて、全国で約30万人程度となると推計。
- 群馬県では約3,550名と推計され、県からのデータによれば前橋市は188.34人(在宅医療や介護サービスの需要分)と試算されている。
- これらのサービスの受け皿としては、外来医療での対応を目指す部分、在宅医療での対応を目指す部分、介護サービス(施設サービス、居宅サービス)での対応を目指す部分が考えられる。
- 対応にあたっては、それぞれの提供体制の整備主体が協議し、医療計画及び介護保険事業計画の計画期間に応じた、統合的な整備目標・見込み量を立てる必要がある。

# 次期医療計画と介護保険事業計画の整備量等の関係について

## 群馬県地域医療構想による介護施設・在宅医療等の追加的なサービス必要量

市町村別に按分した2025年（平成37年）の必要量から、第7期介護保険事業（支援）計画の終了時点（平成32年度末）、第7次医療計画の終了時点（平成35年度末）の数値を、比例的に推計する。



2025年の新たなサービス必要量の推計値を、8年間で等比按分

(例) 32年度末時点のサービス必要量 = 37年のサービス必要量 × 3 / 8